

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合に要する経費(周辺整備等)	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	2	1	
政策	人と自然にやさしい地域社会をつくります	担当課室	クリーン推進課			
施策	循環型社会の構築	担当課室長	中川 聡			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	廃棄物処理施設周辺の環境整備に係る協定の履行について進捗状況を点検し、組合及び構成市等と協議を進める。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	廃棄物処理施設周辺の環境整備に係る協定の履行について、進捗状況を点検し組合及び構成市等と協議を進める。
②①に基づく取組み結果	協定の履行について、進捗状況を点検し、組合及び構成市と協議を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	①廃棄物処理施設の周辺地域 ②柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合	意図(対象をどうするのか)	廃棄物処理施設周辺環境を確保する。
②事務事業の概要	廃棄物処理施設周辺の住民に対する環境整備を目的として、還元施設の維持管理や周辺環境の改善等に必要経費を負担する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	廃棄物処理施設を受け入れている地域の環境向上に向けた取り組みについて、柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合で廃棄物処理施設周辺整備基本計画及び実施計画が策定された。周辺整備事業を早期に実現し、環境向上を図ることが求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合による「さわやかプラザ軽井沢」等の維持管理経費及び施設南側斜面緑地の保全や植栽維持管理等に負担金を支出した。					
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	算定根拠
	i	余熱利用還元施設利用者数	318	285	95	千人 業務取得
	ii	資源化率	20.9	20.1	20.3	% 業務取得
	iii	最終処分率	8.1	7.8	8.1	% 業務取得
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳		令和3年度予算	
事業費(千円)	144,563	141,671	金額(千円)	内容	155,074	
国支出金(千円)			141,671	周辺整備費分		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	144,563	141,671			155,074	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	廃棄物処理施設周辺整備については、構成市等との調整を図りながら着実に進めていく必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	運営の効率化について、たえず検証していくため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	R1からの繰越	
		R1⇒R2繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	令和3年度への繰越額(単位:千円)					

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	ごみ減量業務に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	2	2	
政策	人と自然にやさしい地域社会をつくります	担当課室	クリーン推進課			
施策	循環型社会の構築	担当課室長	中川 聡			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	生ごみ処理容器等購入補助事業に関しては、昨年度から引き続き広報・ごみアプリでの案内を行う外、自治会の班回覧やイベントでのチラシの配布等方法や回数を増やしていく。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	ごみアプリ等を活用し、さらに効率的効果的にPRを行う。
②①に基づく取組み結果	本年度は、生ごみ処理容器等購入費補助事業に関して、市民の目に触れる機会を増やすために、広報・ごみアプリへの案内を増やした。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民	意図(対象をどうするのか)	廃棄物の減量を目指し、循環型社会の構築を図る。
②事務事業の概要	有価物回収運動奨励金や生ごみ処理容器等購入費補助金等の支払いを行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	有価物回収及び生ごみ処理機の補助事業について、全体的に減少傾向にあるが、循環型社会の構築に向けて今後も市民の意識高揚を図っていく必要がある。また、買い物袋持参推進運動に関しては、令和2年7月から全国でレジ袋有料化が義務化されることに伴い、当運動の目的であるレジ袋の削減が期待されることから、令和元年度をもって、当運動を廃止することとなった。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	市内小学校9校のPTA(出す側)と有価物資源組合(回収側)による有価物の集団回収を行い、市民レベルの存続拡大を図るため、両者に対して品目、回収量に応じて奨励金を交付した。また、生ごみ処理容器等の購入者に、購入費用の一部について補助金を交付した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	有価物回収量	839	805	803	t	業務取得
	ii	買い物袋の持参推進運動交換件数	11438	2504	0	件	業務取得
iii	生ごみ処理容器補助件数	27	36	39	件	業務取得	
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	10,217	10,244	金額(千円)	内容		10,668	
国支出金(千円)			9,930	有価物回収運動奨励金			
県支出金(千円)			314	生ごみ処理容器等購入費補助金			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	10,217	10,244				10,668	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	有価物の回収量、買い物袋の交換件数及び生ごみ処理容器等の補助件数について、全体的に減少傾向にある。また、買い物袋持参推進運動は、令和元年度をもって廃止となった。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市民に直接働きかけることでごみの減量化につながる施策であるため、今後もPR活動等を行う必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	R1からの繰越	
		R1⇒R2繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由	令和3年度への繰越額(単位:千円)					

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合に要する経費(ごみ処理等)	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	2	2	
政策	人と自然にやさしい地域社会をつくります	担当課室	クリーン推進課			
施策	循環型社会の構築	担当課室長	中川 聡			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	クリーンセンターしらさぎの延命化計画について、組合と構成市と協議を進める。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	組合、構成市と共にクリーンセンターしらさぎの運営が円滑に進むよう今後も更なる協議・調整を進める。
②①に基づく取組み結果	協議・調整の結果、施設長寿命化総合計画を策定した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	①一般廃棄物(ごみ)を排出する市民等 ②柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合	意図(対象をどうするのか)	①「資源になるもの」等の再資源化による最終処分量の減量を図る。 ②ごみの適正処理を図る。
②事務事業の概要	構成団体の地区内(柏市沼南地区・鎌ヶ谷市全域)で排出されたごみを適正処理するために建設された施設の建設施設償還金及び施設運転管理等の経費を負担する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	ごみ焼却施設の老朽化による延命化対策が必要となる。最終処分場確保の逼迫及び資源の有効活用のため循環型社会形成の取組みが求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	ごみ処理費用(ごみ処理費・共同化処理費及びごみ処理施設償還)に係る負担金を支出した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	再資源化量	5,752	5,593	5,687	t	業務取得
	ii	最終処分量	2,492	2,439	2,513	t	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	1,237,669	1,241,933	金額(千円)	内容		1,248,590	
国支出金(千円)			603,606	共同化処理費分			
県支出金(千円)			550,262	ごみ処理費分			
市債その他(千円)			88,065	建設費償還分			
一般財源(千円)	1,237,669	1,241,933				1,248,590	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化による維持管理費の増加が見込まれる。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	老朽化した施設の安定稼働を図るための的確な維持管理、運営を行うとともに延命化に伴う調整等を進める必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	R1からの繰越	
		R1⇒R2繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由						
	令和3年度への繰越額(単位:千円)					

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	クリーンセンターしらさぎ長寿命化対策事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	2	2	○
政策	人と自然にやさしい地域社会をつくります	担当課室	クリーン推進課			
施策	循環型社会の構築	担当課室長	中川 聡			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容		③令和3年度に取組む改革・改善内容	長寿命化工事が開始されたが、工事が完了(R4年度)するまで今後も組合、構成市と共に改修工事が円滑に進むよう協議・調整を進める。
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	①市民 ②柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合	意図(対象をどうするのか)	クリーンセンターしらさぎのごみ処理について安定的かつ効率的な稼働を目指す。
②事務事業の概要		柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合が実施する「施設長寿命化総合計画」に基づくクリーンセンターしらさぎの長寿命化対策事業に係る経費を負担する。		
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)		本工事は、基幹的設備の長寿命化を図るべく行う工事であるため、今後もその他の設備の改修が必要となる。		

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	クリーンセンターしらさぎ長寿命化対策工事を行う柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合に対し、負担金として支払う。					
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	算定根拠
	i	工事進捗率	-	-	4.05	% 業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算
事業費(千円)	0	4,260	金額(千円)	内容		40,011
国支出金(千円)			4,260	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合負担金(長寿命化対策事業)		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	0	4,260				40,011

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	今後も長期にわたって安定的な稼働できるよう必要な修繕計画を検討していく。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	今後もその他の設備等の老朽化は進行していくため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	負担金	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	負担金	4,260	4,260	当初	4,260	R1からの繰越	0
				R1⇒R2繰越			
③達成状況	完了			補正	4,260	現年分	4,260
④未完了・非着手の理由		令和3年度への繰越額(単位:千円)					

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	ふれあい収集事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	2	2	○
政策	人と自然にやさしい地域社会をつくります	担当課室	クリーン推進課			
施策	循環型社会の構築	担当課室長	中川 聡			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容		③令和3年度に取組む改革・改善内容	必要とされる方に事業案内が伝わるような効率的効果的な啓発を実施する。
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	高齢者や障がい者等	意図(対象をどうするのか)	ごみ出しの支援を行う。
②事務事業の概要		自らごみを出すことが困難な高齢者や障がい者に対して、ごみの戸別収集となるふれあい収集事業を実施することに伴い、柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合に係る経費等を負担する。		
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)		令和3年3月末時点で、利用件数は60件である。今後も本事業の対象となる市民に幅広く周知啓発を行い、ごみ出し支援を進めていく必要がある。		

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	本事業のPRを関係者や関連施設に周知啓発を行った。令和2年度4月から受付を開始し、同年10月から収集を始めた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	ふれあい収集利用件数	-	-	60	件	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト		令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳		令和3年度予算	
事業費(千円)		0	7,009	金額(千円)	内容	9,769	
国支出金(千円)				6,686	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合負担金(ふれあい収集事業)		
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)			7,009			9,769	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	事業を開始したばかりであり、今後も一層の本事業の周知啓発を図る。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	ごみ出しが困難な方に対して、戸別収集を行うことは、負担や不安の軽減につながるものである。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	負担金	令和2年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	負担金	7,009	7,009	当初	6,810	7,009	R1からの繰越	0
				補正			現年分	7,009
③達成状況	完了							
④未完了・非着手の理由		令和3年度への繰越額(単位:千円)						
		0						